

## 令和6年度の学校経営目標と指導の重点

一人ひとりの児童が夢や希望をもち、共に生き生きと輝く、明るく活気に満ちた学校づくり推進する。

- ① 児童が「分かった」「できた」を実感でき、主体的に学びに向かう力を育てる学習指導の充実
  - ・「自己決定」や「自己選択」の場の設定や、「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善を行う。
  - ・朝学習の取組の充実等で、学びを支える基礎基本の定着を図るとともに、低位層の児童の底上げを図る。
  - ・学力向上のツールとして、タブレット端末、デジタル教科書等のICTの効果的な活用の推進を図る。
- ② 児童の自己肯定感を高める取組や、夢や希望、社会につながる豊かな体験の充実
  - ・P B I S（ポジティブ行動支援）の視点を取り入れた教育活動や豊かな体験活動の充実を図り、児童の自己肯定感を高め、自己表現力や活力を育む。
  - ・諸々の教育活動における「振り返り」の場の充実を図ることで、自己肯定感を育み、集団への参画意識を高める。
  - ・保護者や地域と連携しながら、挨拶の習慣化を図る。教職員自らも積極的に挨拶を行う。
- ③ 生涯にわたる健康・安全・体力の基礎づくりの充実
  - ・「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果等を活用した取組の充実に努める。
  - ・「実践的な避難訓練」や「使える防災マニュアル」を意識し、自然災害や事故等に備えた安全教育の充実を図る。
- ④ 好ましい人間関係づくりを基礎とした人権教育や生徒指導の充実
  - ・多様性を認め合う力を育てるとともに、支援や配慮を必要とする児童を中心に据えた学級づくりを行う。
  - ・互いに「分かり合う」喜びを感じられる支持的風土、共感的な人間関係を基盤とした集団づくりを行い、「積極的な生徒指導」を充実させることで、問題行動の未然防止を図る。
- ⑤ 一人ひとりのニーズに合った特別支援教育の充実
  - ・一人ひとりの児童の特性を正しく把握するとともに、個に応じた指導・支援を行う。
  - ・ユニバーサルデザインの視点に立った授業及び教室環境づくりを行う。

平素より、本校の教育活動の推進に、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

「子供たちが通いたくなる明るく活気あふれる学校」、「保護者の皆様や地域の皆様から信頼される学校」、「教職員が児童の成長のために心を一つに協働する学校」を創ることに努めたいと思います。よろしく願いいたします。

令和6年4月

倉敷市立老松小学校長 横溝 敬司